

組編成と生年月日入力表 取扱説明書

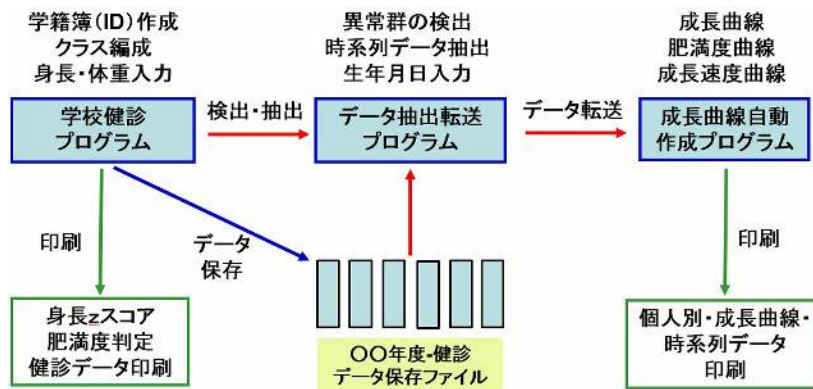
エクセルの準備

ソフトを起動する前に、エクセルの「マクロの設定」を無効から有効に変更します。メニューバーの「開発」-「マクロのセキュリティ」を選択し、「すべてのマクロを有効にする」にチェックを入れてください。

I. 目的

春と秋の学校健診では、身長・体重の異常、すなわち高・低身長、肥満（やせ）の有無、成長曲線・肥満度曲線の描出が要求されます。そこで、3つのプログラムから成る学校健診用ソフトを開発しました。

学校健診用ソフトの概略を、以下の図に示します。



プログラムは、「学校健診プログラム」、「データ抽出転送プログラム」、「成長曲線自動作成プログラム」から成ります。

そのうち「学校健診プログラム」は、学籍簿（ID）作成、クラス編成、身長・体重の入力を行います。入力ができますと、身長・体重を入力するだけで、「身長の度合い（Zスコア）」と「肥満度（村田式）」を計算します。またその結果を、春と秋の検診時にクラス別に印刷し、学校医に「身長Zスコア・肥満度」が提示できます。

「学校健診プログラム」は機能が多く、使いこなすまでに時間がかかります。

そこで、操作を簡素化するために、補助プログラムを作成しました。その一つが「組編成と生年月日入力表」であり、クラス編成と学籍簿（ID）作成を行います。「学校健診プログラム」も、「学校健診プログラム 2018」のように毎年新しいファイルを提供し、操作は転入・転出・氏名変更・身長体重入力だけにしました。

身長・体重の入力も、誤入力を防ぐために、いずれ補助プログラム「学校健診入力表」を提供します（現在開発中）。

II. 「組編成と生年月日入力表」の操作

起動方法

- 1) エクセルメニューの「ファイル」をクリックします。
- 2) 「健診ソフト〇〇」のフォルダにある「組編成と生年月日入力表」を選び、起動します。

ソフトを起動すると、初画面が表示される前に、「学校健診プログラムと同期しますか？」というポップア

トップメニューが出現します。すでに「学校健診プログラム」を使い始めて、学童・生徒のデータが入力されている場合は、「はい」を選択して下さい。入力済みの情報が、「組編成と生年月日入力表」に反映されます。

「学校健診プログラム」がまったく未入力の状態であれば、「いいえ」を選択します。

いずれの場合も、次に以下の初画面が表示されます。小学校、中学・高校、高専、兼用です。

最初の行に、「最終・同期年月日」が表示されています。「はい」を選択すれば、当日の日付になります。

		画面移動ボタン						処理説明
一 学年の生徒数設定	生徒数拡張							枠外参照
クラス(組)編成	組編成1	組編成2	組編成3	組編成4	組編成5	組編成6	枠外参照	
生年月日の入力	小学1年 中学1年 高専1年	小学2年 中学2年 高専2年	小学3年 中学3年 高専3年	小学4年 高校1年 高専4年	小学5年 高校2年	小学6年 高校3年	枠外参照	

注) ボタンには、緑・赤・オレンジの3種類があります。
 緑は画面移動ボタン、赤は自動マクロ実行ボタン、オレンジ色はデータ転送ボタンです。
 赤・オレンジ色のボタンをクリックすると、確認画面が出ますので、変更しない場合は閉じて下さい。

注1) ボタンには、緑・青・赤の3種類があります。

表にあるように、緑は画面移動ボタン、オレンジ色はデータ転送ボタンです。

注2) 画面で移動した先にある赤いボタンは、自動でデータを書き換えるマクロ実行赤ボタンです。

赤のボタンをクリックすると、入力内容の変更について確認画面が出ます。

変更しない場合は、閉じれば変更はされません。

処理1) 学年の生徒数設定

学年の生徒数を設定します。(全学年の中で、最高人数の学年の生徒数に合わせます。)

初期設定は100人です。予想される転入生・転出生を加味して、余裕を持って設定してください。

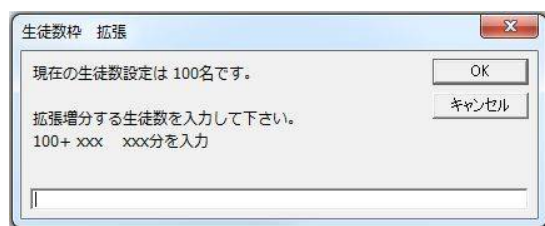
途中で変更も可能です。

「生徒数設定画面へ」ボタンをクリックして、生徒数設定画面へ移動します。

初期設定は一学年100人です。

現在の生徒数設定値	100	生徒数拡張
-----------	-----	-------

「生徒数拡張」赤ボタンをクリックすると、以下の画面が出ますので、追加人数を手入力します。



処理2) クラス（組）編成

組編成は、組編成1、組編成2、組編成3、組編成4、組編成5、組編成6と、6年分が用意されています。小学校なら組編成1～6、中学校なら組編成1～3、高校なら組編成4～6、高専なら組編成1～4を用います。ボタンをクリックすれば、それぞれのシートに移動します。

学籍簿ができている場合：以下のごとく、シートの右に学籍簿が表示されており、組編成するだけです。

学籍簿ができていない場合：組編成をすれば、学籍番号 (ID) が割り当てられシート右に学籍簿ができます。

例：小学校5年・高校2年

4	入学年 西暦	2012	小学5年・高校2年												
5					組内番号順	学籍簿作成	クリア	小学5年 高校2年							
6	検索・カーソル移動														
7	組番号を入力してください														
8	組番号	1													
9		5	240名						学籍簿						
10		学年	仮の ID	組	番号	氏名	ふりがな	性別 1-2	性別 男女	学籍番号	氏名	ふりがな	性別 1-2	性別 男女	
11		1	5	50101	1	1	A-1	あきもと	2	女	120001	A-1	あきもと	2	女
12		2	5	50102	1	2	A-2	うえの	1	男	120002	A-2	うえの	1	男
13		3	5	50103	1	3	A-3	おおたけ	1	男	120003	A-3	おおたけ	1	男

手順は、

- 1) 組・氏名・ふりがな・性別（1・2）を入力します。
- 2) 組別に入力するには、検索・カーソル移動ができます。組番号を入力すれば、自動で移動します。
- 3) 「組内番号順」ボタンをクリックすれば、組内番号がない場合でも自動入力され、並べ替えが行われます。
- 4) 学籍簿がない場合、「学籍簿作成」ボタンをクリックすれば、図右にある学籍簿が作成され、学籍番号が自動入力されます。学籍簿がすでにある場合は、ボタンをクリックしても何も起きません。

注) 学籍番号 (ID) は非常に重要です。年度が変わっても ID は変えられません。

ID を入力するだけで、6年間のデータが一瞬で取り出せます。転出しても ID は残ります。途中で姓が変わっても ID は同じです。転入生は、学年の最後尾の番号が、順に振り当てられます。

次に、「小学5年・高校2年」ボタンをクリックすれば、生年月日入力表に移動します。

処理3) 生年月日入力

初画面

初画面 **組編成と生年月日入力表** 最終・同期年月日 **2018/1/10** 学校健診プログラムと同期する

起動時に、学校健診プログラムとの同期の確認があります。
各学年・組に、転入・転出・氏名変更などがなければ、同期の必要はありません。
はっきりしなければ、必ず「学校健診プログラムと同期する」ボタンをクリックして、この入力表を整えてください。

「学校健診プログラムと同期」とは、各学年ごとに、学籍番号順の氏名・性別の取込を行うことです。

	画面移動ボタン						処理説明
→ 学年の生徒数設定	生徒数拡張						枠外参照
クラス(組)編成	組編成1	組編成2	組編成3	組編成4	組編成5	組編成6	枠外参照
生年月日の入力	小学1年 中学1年 高専1年	小学2年 中学2年 高専2年	小学3年 中学3年 高専3年	小学4年 高校1年 高専4年	小学5年 高校2年	小学6年 高校3年	枠外参照

注) ボタンには、緑・赤・オレンジの3種類があります。 緑は画面移動ボタン、赤は自動マクロ実行ボタン、オレンジ色はデータ転送ボタンです。
赤・オレンジ色のボタンをクリックすると、確認画面が出ますので、変更しない場合は閉じて下さい。

生年月日の入力：いずれかのボタンをクリックして、各学年の入力表に画面移動します。

例) 「小学5年・高校2年」ボタンをクリックすると、

使い方
1) この「生年月日入力表」が最新かどうか、初画面の「最終同期年月日」で確認します。
はっきりしなければ、必ず「学校健診プログラムと同期」ボタンをクリックします。
2) 白枠の中に、修正も含めて、新しく判別した生年月日を入力します。
3) 「修正・追加」ボタンをクリックします。
4) 「生年月日データの転送」ボタンをクリックして、身長・体重データを転送します。
転送先は、「学校健診プログラム」と「成長曲線自動作成プログラム」です。

修正・追加

初画面へ 生年月日データの転送

学年 **5** 小学5年・高校2年
入学年:西暦 **2012**

検索・カーソル移動
学籍番号を入力してください
学籍番号 **12001**

年	学籍番号	氏名	ふりがな	性別 1, 2	性別 男女	生年月日	生年月日			生年月日						
							学籍番号	氏名	性別	生年(和暦)	月	日	生年(和暦)	月	日	
1	5	120001	A-1	あきもと	2	女	2001/1/7	120001	A-1	女	13	1	7	13	1	7
2	5	120002	A-2	うえの	1	男	2000/12/8	120002	A-2	男	12	12	8	12	12	8
3	5	120003	A-3	おおたけ	1	男	2000/5/19	120003	A-3	男	12	5	19	12	5	19

最初のB列は学年です。

次のC列～H列が、「学校健診プログラム」の学籍簿シートと同期する、「学籍番号・氏名・ふりがな・性別(1・2)・性別男女・生年月日」です。同期させた時点で、データがあれば転写されています。

そして、I列～N列が、「データ抽出転送プログラム」の生年月日シートに転送するための、「学籍番号・氏名・性別男女・生年・生月・生日」です。C列～H列から計算されて、自動表示されます。

最後のO列～Q列が、入力するための生年(和暦)・生月・生日です。

使い方

- 1) この「生年月日入力表」が最新かどうか、初画面の「最終同期年月日」で確認します。

はっきりしなければ、必ず「学校健診プログラムと同期」ボタンをクリックします。

- 2) 白枠の中に、修正も含めて、新しく判明した生年月日を入力します。
- 3) 「修正・追加」ボタンをクリックします。
- 4) 入力後に、「生年月日データの転送」ボタンをクリックして、身長・体重データを転送します。
転送先は、「学校健診プログラム」と「データ抽出転送プログラム」です。

注) 学籍番号の桁数設定

新規の場合、学籍番号が自動で割り当てられます。

学籍番号は、先頭2桁が入学年度（西暦年）の下2桁になります。

例) 2011年入学の学籍簿は110000台になります。110001、110002、……

平成30年2月22日

(文責：高橋泰生)